

DECC 詳細・時刻別データによる節電方策適用前 (Before) の実態

建物用途別電力消費特性2：デパート

■分析対象建物概要

- 関東に立地するデパート6件。平均延床面積は、約47,000㎡である。
- 主熱源設備は、すべて併用方式である。
- データ年度は、2006年度と2007年度にわたる。

■夏期屋間平均^{注)}電力消費 注) 屋間平均とは、9時～18時までの平均

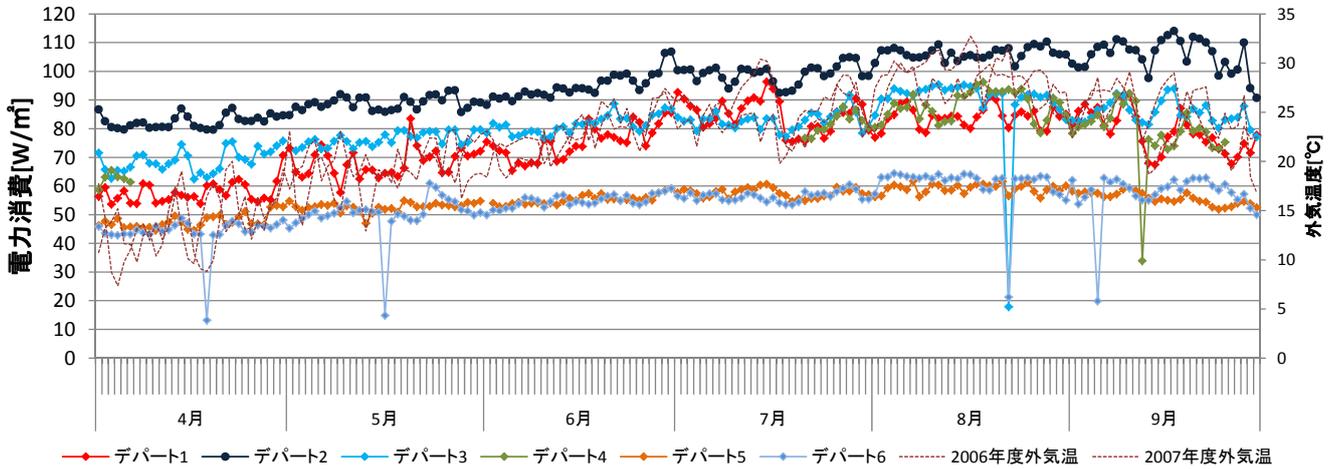


図 2-1 4月～9月の屋間平均電力消費と外気温度

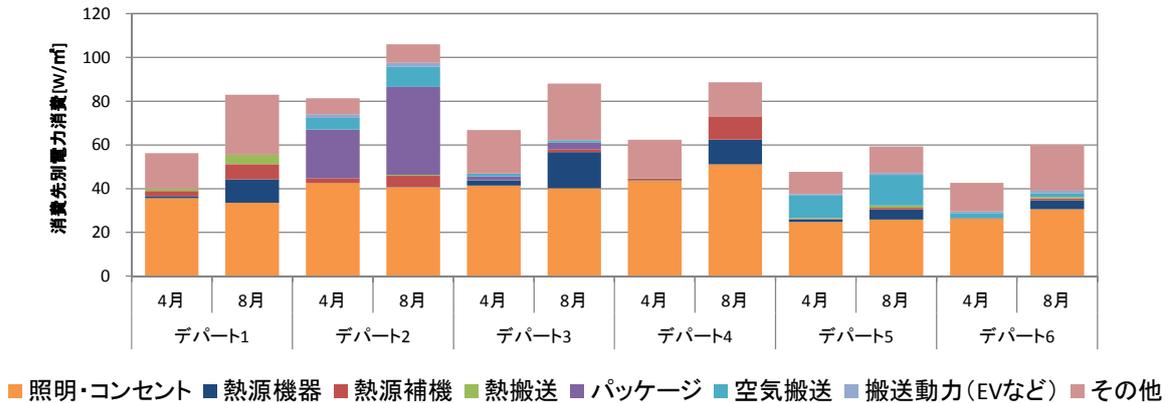


図 2-2 4月、8月の消費先別屋間平均電力消費

- デパート1～4は、4月～9月の外気温度の増減の影響を受けやすい。
- デパート1～4の照明・コンセント電力は、概ね40～50W/㎡である。デパート5、6は延床面積が大きく、原単位も小さくなっている。
- デパート2は、8月のパッケージ消費電力が全体の4割を占めている。

■夏期電力消費の時刻別パターン

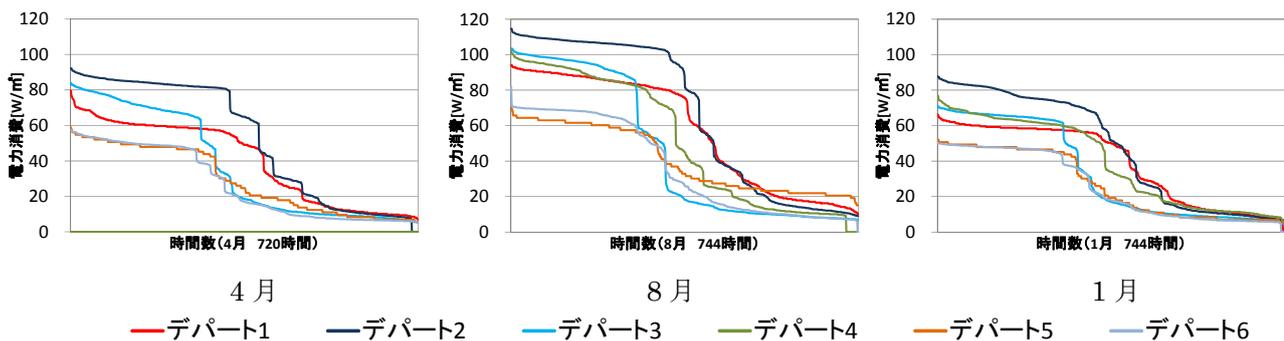


図 2-3 時刻別電力消費累積曲線(4月、8月、1月)

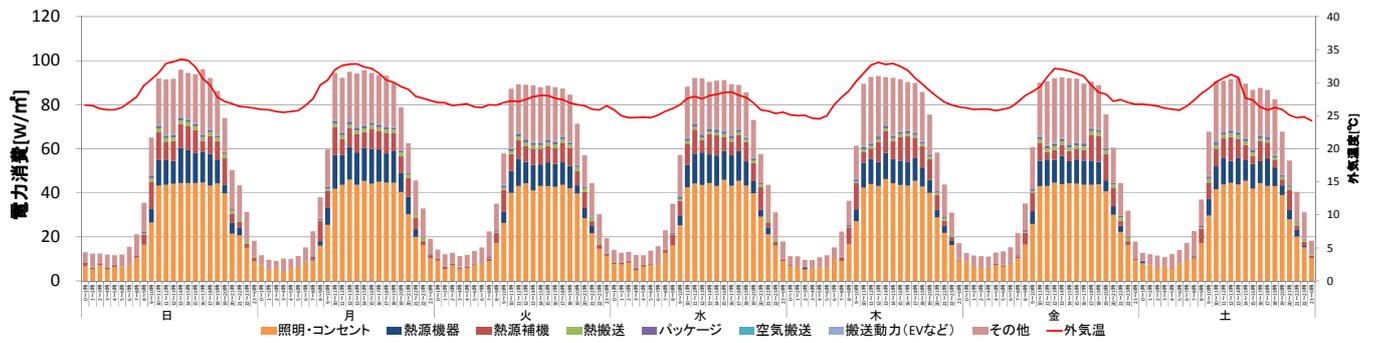


図 2-4 8 月代表週の時刻別電力消費原単位の推移（デパート 1、3、4 平均値）

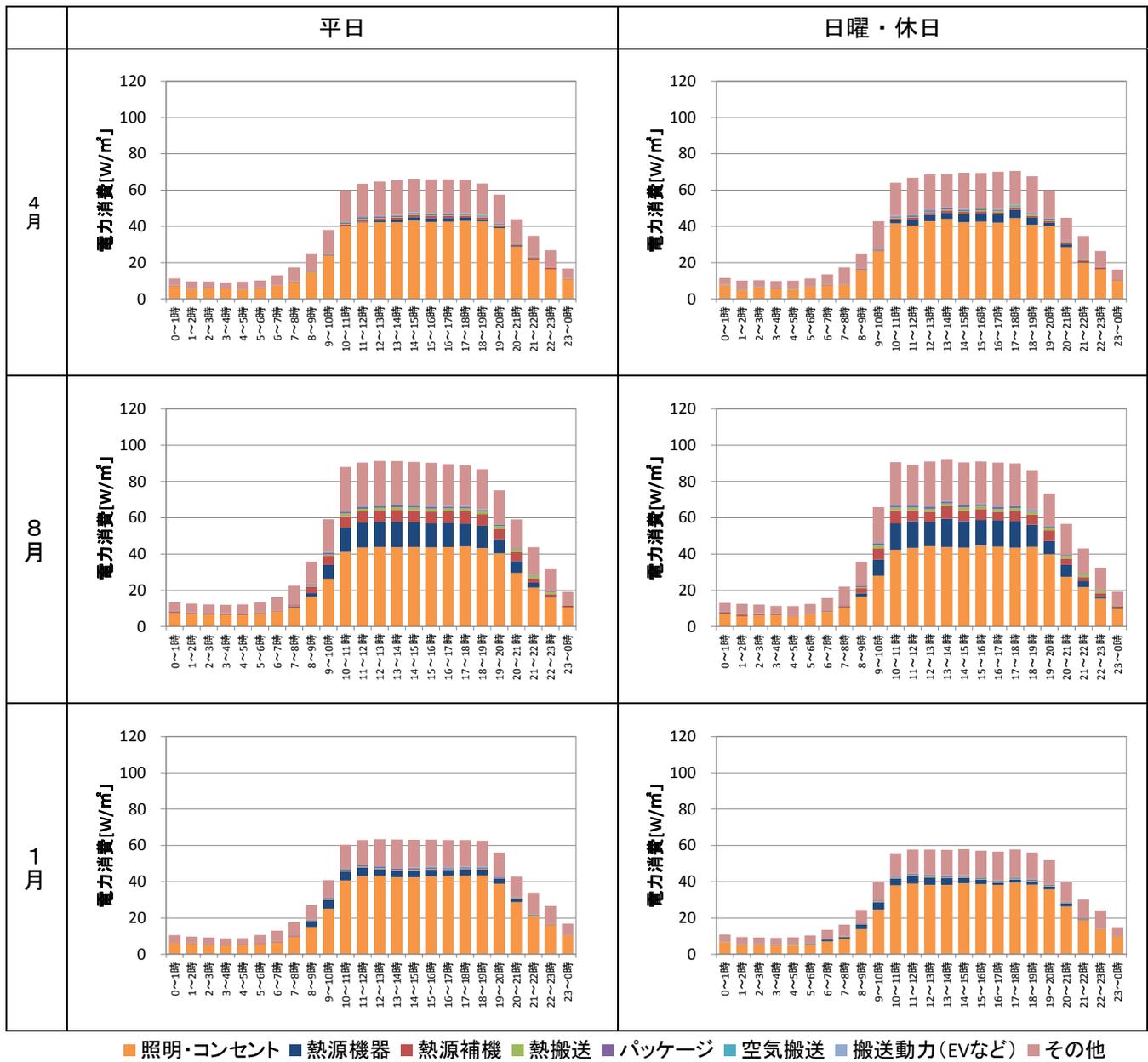


図 2-5 4 月、8 月、1 月における平日・休日の電力負荷パターン（デパート 1、3、4 平均値）

- 負荷平準化の度合いは低く、稼働時と非稼働時の差が明確である。
- 10 時～19 時までの電力消費は、ほぼ一定である。
- 平日、土曜、日曜・休日の差は無い。